

スマートフォンの文字がぼやけて見えませんか？

監修：医学博士 梶田雅義（梶田眼科）

こんな症状、ありませんか？



1 携帯電話、スマートフォンの文字がぼやけて見えにくい。

2 照明が少し暗いレストランなどでメニューの文字が見えにくいと感じることがある。

3 目線を遠くから近くに、近くから遠くに変えたときに、すぐにピントが合わないことがある。

4 工作中、夕方になると書類が見えにくく感じる。

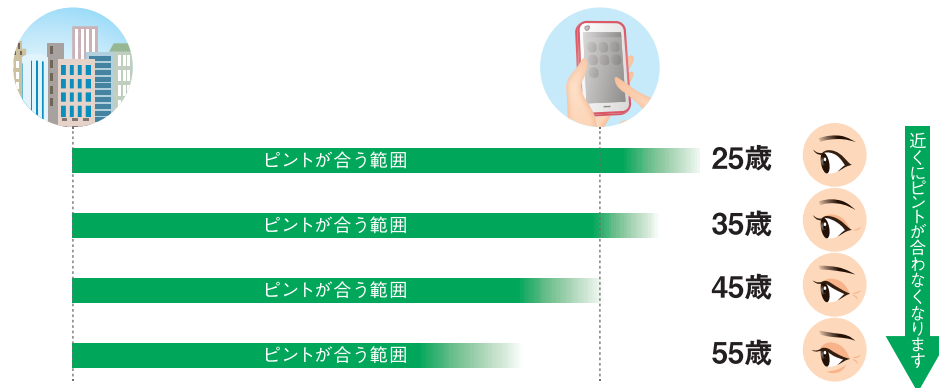
5 最近、目が疲れやすく、しょぼしょぼする。



40～45歳くらいになって、このような症状が現れてきたら、老眼かもしれません。

「老眼ってお年寄りになるもの」「老眼＝遠視」「近眼だから老眼にならない」と思っていないですか？

老眼とは、年齢とともに目がピントを合わせられる範囲が狭くなり、近くが見えにくくなることです。40～45歳になると誰にも起こることなのです。



老眼は、そのまま放置しておくとうつ、肩こり、頭痛、吐き気などの症状が現れることもあります。

目の疲れや近くが見えにくいのを我慢するより、快適な生活を送るためにも、早めの対処をおすすめします。

老眼は、メガネやコンタクトレンズなどで対処できます。まずは、眼科の先生にご相談ください。

コンタクトレンズの情報や正しい使い方など、役に立つ情報を掲載しています。

クーパービジョン <http://www.coopervision.jp/>



※スマートフォンの方はQRコードからもご覧いただけます。

※スマートフォンでご覧の際はパケット通信料が発生します。